

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	泉大津市春日町高齢者施設計画 新	階数	地上4F
建設地	泉大津市春日町114-2、145-1、146	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	65 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2015年4月20日
敷地面積	1,785 m <sup>2</sup>	作成者	積水ハウス株式会社大阪特建支店 一級建築
建築面積	651 m <sup>2</sup>	確認日	2015年4月24日
延床面積	2,225 m <sup>2</sup>	確認者	積水ハウス株式会社大阪特建支店 一級建築士事務所 植田泰平

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 83%  
③上記+②以外の 83%  
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3  
Q2 サービス性能: 4  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.5)	Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.6)	Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.1)
音環境: 2.6 温熱環境: 2.4 光・視環境: 2.6 空気質環境: 2.5	機能性: 2.6 耐用性: 2.8 対応性: 2.5	生物環境: 1.0 まちなみ: 3.0 地域性: 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.4)	LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.8)	LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 2.8)
建物外皮の: 3.0 自然エネ: 3.0 設備システ: 4.0 効率的: 2.5	水資源: 3.0 非再生材料の: 2.8 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.6 地域環境: 2.3 周辺環境: 2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
住宅街のなかであるため周囲に圧迫感を与えないよう高さを抑え、配置にも配慮した。屋内では、共用部と居住部分の動線の交差が出来る限り少なくなるよう配慮した。	0
<b>Q1 室内環境</b> 高齢者専用の建物であるため、明るく、静かで、温度管理のしやすい室内環境づくりを心掛けた。	<b>Q2 サービス性能</b> 安全で清掃、維持管理がしやすい性能を目指した。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地やグリーンブロックを建物周囲に配し、敷地内環境の向上に努めた。	<b>LR3 敷地外環境</b> 近隣建物に囲まれた地域であるため、日照、風害を起こさないよう出来るだけ境界線から離れた配置計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネ法に則った計画とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 配慮事項は計画上では多くは無いが、今後施工段階で採用検討を行うこととしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0008

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	泉大津市春日町高齢者施設計画 新築工事					
		建設地	泉大津市春日町 144-2、145-1、146-1					
		用途/区分	病院					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
				住戸・宿泊	3.0			
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						2.5
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.0
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								